

科目名	デザインアイテム論 [インテリア] (卒業必修)				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2022年度 後期	単位数	2		
担当教員	柴崎 恭秀				
内容および計画	インテリア・建築デザインを行なうには、計画から材料、構造、構法、設計、施工、歴史、環境、法規等、様々な知識が要求される。ここでは建築・インテリアがいかなる材料で構成され、どのような構造でできているかを解説する。各構成材の内容と特長を理解し、構成材の選択、使い方のポイントを学ぶとともに、最近の建設事情を反映した問題点から、変化の時代に対応する考え方や今後の課題についても考える。建築のしくみを理解するために、特に木造と鉄筋コンクリート造の矩計、断面詳細にも触れ、施工の手順についても触れていく。				
1	ガイダンス・課題説明・構造 1.[構造計画について]				
2	構造 2.[中低層建築・高層建築・超高層建築・大空間・大スパン建築について]				
3	構造 3.[木質系構造について]				
4	構造 4.[伝統的木造について]				
5	各部構法 1.[屋根について]				
6	各部構法 2.[壁について]				
7	各部構法 3.[床・天井について]				
8	各部構法 4.[開口部について] (課題等の提出・講評)				
9	各部構法 5.[階段・バルコニー他について]				
10	設備・性能・機能 1.[設備について]				
11	設備・性能・機能 2.[性能・高機能空間・高機能建築について]				
12	エクステリア[外構・街並み・しつらえについて]				
13	生産 1.[製図・施工手順・工事について]				
14	生産 2.[維持・保全・プレファブ리케이션について] (課題等の提出・講評)				
15	変化する建築の状況と今後の課題について				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	図解辞典 建築のしくみ	建築図解辞典編集委員会	彰国社	4395100252	2001
その他、適宜配布					
参考書	1)中山繁信・松下希和・伊藤茉莉子 「世界で一番美しい名作住宅の解剖図鑑」 エクスナレッジムック 2)日本建設業連合会関西委員会「イラスト建築施工」日本建設業連合会関西委員会 3)新しい建築の製図編集委員会「新しい建築の製図」学芸出版社				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	終了考査				40
	提出課題等				40
	出席状況(受講状況を含む)				20

学習到達目標	1)建築の構造、構成等を教科書の項目ごとに検証し、用語を理解する。 2)15週にわたる配布資料の「施工プロセス」について理解する。 3)最も一般的な木造住宅と鉄筋コンクリート建物の断面を描くことで理解する。
先修条件	なし
実務経験	実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに15年以上従事してきた。一級建築士として25年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。
その他	必須・選択の別:必修